

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習			取組	1 生涯学習機会の充実						
事業名		社会教育委員事業				SDGs	4、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	社会教育委員会議										
	どのようにしたいか(意図)	より良い会議運営を行うとともに、社会教育委員からの意見を参考にして、社会教育に関する諸計画の立案や振興方策等に役立てます。										
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		190			186 98%			490 263%				
	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	190			186 98%			490 263%				
	職員数(人)	0.04			0.03 75%			0.05 167%				
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位		
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①	-											
			0			0			0			
指標②	-											
			0			0			0			
主な事業内容		社会教育委員会議の実施(主な議題は以下のとおり) ・前年度事業実績及び当年度事業計画 ・コロナ禍における各施設の利用状況 ・翌年度における取組										
成果		社会教育委員会議を3回実施(うち1回は書面開催)し、社会教育委員から意見があった各委員からの意見徴収や自由討議の時間を新たに設けるなど、会議の内容について改善を行いました。										
課題		これまでの会議運営から改善を行いましたが、活発な意見交換には至っていません。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善を検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討
			○				○			○		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充										引き続き意見交換の時間を設け社会教育委員同士の活発な意見交換を促すとともに、委員から自発的な意見が出されるような会議運営を検討します。	
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		増減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁				
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実							
事業名		社会教育一般管理事業		SDGs		4, 17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	社会教育活動の機会の提供や活動を支援することにより、住民の自主的な活動を活発にします。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)					
		3,173	3,427	108%	4,511	132%					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0					
	受益者負担	0	0	0	0	0					
	その他特定財源	0	0	0	0	0					
	一般財源	3,173	3,427	108%	4,511	132%					
職員数(人)		0.26	0.25	96%	0.29	116%					
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		高齢者教室の定員数に対する参加率									%
		55	80	69%	-	80	0	-	80	0	
指標②		生涯学習あんない「いきいき生涯学習ネット」掲載団体数(サークル編)※体育・スポーツ及び福祉関係除く。									団体
		106	120	88%	90	120	75%	122	120	102%	
主な事業内容		①高齢者教室委託事業(老人クラブの企画による高齢者向け講座) ②講座教室の内容を冊子にした「生涯学習あんない」を発行 ③家庭教育事業(講演会) ④親子ふれあい委託事業									
成果		①高齢者教室委託事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 ②「生涯学習あんない」講座・イベント編(年2回)、サークル編(年1回)を発行することにより、生涯学習情報を提供できました。 ③家庭教育に係る講演会を実施することで、親子のコミュニケーション術を学ぶ機会を提供しました。 ④親子ふれあい委託事業は北中おやじの会の活動により実施することで親子のふれあいの機会を提供しました。									
課題		①高齢者教室は内容を良くするため創意工夫を行っていますが参加者数が減少しています。 ②「生涯学習あんない」の講座実施後、講座受講が一過性にならず、受講者がサークルを組織し、継続につなげていく働きかけが必要です。									
評価視点											総合評価
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の継続・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
		○					○				○
A											
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					①老人クラブに委託することで、高齢者による高齢者のための講座を催す仕組みとなっています。高齢者のニーズにマッチするよう老人クラブのサポートをしながら事業を進め参加者を増やしていきます。 ②「生涯学習あんない」は、講座を実施後サークルを組織し継続してもらうことで、生涯学習団体の増加が見込めます。魅力的な講座企画や運営を行い、参加者を増やし、定期的な活動を行えるように促していきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性											
削減						縮小					
						現状維持					
						拡大					

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	社会教育一般管理事業	担当課	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	親子ふれあい委託事業	児童・生徒とその親、親の会	子どもとのふれあいの催しを実施することで	親子の思い出を作ってもらいます。	3,250	3,260	現状維持	現状維持
2	東浦町高齢者教室委託事業 (令和3年度中止)	高齢者、老人クラブ	高齢者による高齢者のための講座を実施することで	生きがいや学びの場を設けます。	0	540	現状維持	現状維持
3	PTA連絡協議会補助事業 (令和3年度中止)	東浦町PTA連絡協議会	補助金を交付することによって	子どもの教育や地域貢献をしています。	0	72	現状維持	現状維持
4	婦人会補助事業 (令和3年度中止)	東浦町婦人会連絡協議会	補助金を交付することによって	地域に貢献してもらいます。	0	140	現状維持	現状維持
5	家庭教育事業	未成年の子を持つ親	講演を開催することによって	家庭教育への理解を深めます。	80	335	現状維持	現状維持
6	「生涯学習あんない」発行事業	住民	冊子を発行することによって	様々な講座・教室があることを知ってもらいます。	97	164	現状維持	現状維持
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					3,427	4,511	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	58	頁			
	施策	1 生涯学習		取組	3 青少年育成の環境づくり							
事業名		青少年教育事業			SDGs	4、17						
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	青少年										
	どのようにしたいか(意図)	青少年自らが企画、運営に参加する機会を通して、考え行動する能力を養い、町や地域で活躍できる人材を育みます。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)						
		1,327		1,420 107%		2,450 173%						
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0						
	受益者負担	0		57 0		72 126%						
	その他特定財源	0		0 0		0 0						
	一般財源	1,327		1,363 103%		2,378 174%						
職員数(人)		0.30		0.26 87%		0.41 158%						
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		ミュージックフェスティバル参加者数									人	
		350	350	100%	-	350	0	-	350	0		
指標②		成人式への出席率									%	
		81	100	81%	83	100	83%	84	85	99%		
主な事業内容		①ミュージックフェスティバル委託事業 対象 音楽愛好家(実行委員会は青少年を中心に運営) 内容 音楽イベントの企画及び運営全般 ②成人式委託事業 対象 20歳を迎える方(実行委員は町内3中学校の卒業生から18名選出) 内容 式の企画及び運営全般										
成果		①新型コロナウイルス感染症のまん延の影響により実施できませんでした。 ②実行委員会を8回開催し、青少年自らが企画、運営に参加する機会となりました。 令和4年1月9日成人式 コロナ禍により午前午後と分けて実施 出席者:481名										
課題		①運営スタッフの入れ替わりがないため、青少年の協力者を増やす必要があります。 ②実行委員の自発的な行動もあり見られないため、実行委員自ら考え行動する組織づくりが必要です。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性		A		
○				○				○				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い		やや高い	高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充										①動画配信の併用なども検討し、新型コロナウイルス感染症対策を行い開催を目指します。また、高校生の参加を働きかけ青少年の運営スタッフの増員を行い年代を問わず参加できるものに改善していきます。 ②令和4年4月から成人年齢が引き下げられましたが、東浦町ではこれまでどおり20歳を迎える方を対象に式典を開催します。実行委員会では、委員主体で動かせるように会の運営を見直し、二十歳のつどい(仮称)を魅力ある式典にしていこうと働きかけていきます。	
	現状維持			○								
	縮小											
	休止											
コスト投入の方向性												
削減 縮小 現状維持 拡大												

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	青少年教育事業	担当課	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	ミュージックフェスティバル委託事業 (令和3年度中止)	音楽愛好家	主に軽音楽によるコンサートイベントを実施することで	音楽の楽しさを体験させます。	0	350	現状維持	現状維持
2	成人式委託事業	20歳を迎える方	新成人への祝意を表し新成人自ら実行委員会を組織し式を実施することで	成人となった自覚を促します。	1,160	1,633	現状維持	現状維持
3	ボーイスカウト補助金事業	東浦ボーイスカウト第1団、第2団	補助金を交付することで	社会貢献を促します。	180	180	現状維持	現状維持
4	親子ふれあい事業	小中高生	イベントを企画し、実施に参加してもらうことによって	体験により子どもたちの内面の成長につなげます。	29	220	現状維持	現状維持
5	青少年対策事業	青少年	啓発等の実施によって	青少年の健全かつ善良なこころの成長につなげます。	51	67	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					1,420	2,450	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	3 文化・芸術活動の推進			

事業名	文化芸術活動推進事業	SDGs	8, 17
-----	------------	------	-------

担当課	教育部 生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------

目的	誰を・何を(対象)	住民、参加者
	どのようにしたいか(意図)	生活の中の潤いや安らぎ、創造の喜びのため、文化活動や芸術鑑賞ができ、学習の成果を発表するなどして、住民等が文化の創造と発展の主体となっています。

事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)
	1,345	1,691	126%	2,306	136%

財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	受益者負担	219	124	57%	693	559%
	その他特定財源	300	300	100%	0	0%
	一般財源	826	1,267	153%	1,613	127%
	職員数(人)	0.22	0.18	82%	0.19	106%

主な事業実績 (評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①	うの花音楽祭の来場者数									人
	310	350	89%	-	350	0	-	350	0	
指標②	-									
			0			0			0	

主な事業内容	①文化協会補助金 ②うの花音楽祭委託事業の実施 ・実行委員 東浦町コーラス連盟 ・内容 合唱祭(音楽祭)の企画及び運営 ③落語を楽しむ会委託事業の実施 ・実行委員 落語を楽しむ会実行委員会 ・内容 落語家として活躍する地元出身者(半田市・東浦町)による寄席の企画及び運営
--------	---

成果	以下の事業を住民が主体的に取り組み実施することで文化芸術の振興に寄与しました。 ①文化センターが新型コロナワクチン接種会場のため利用できなかったため、会場分散開催を提案し、「コロナに負けない文化展」として実現できました。 ②Special Editionとして無観客収録等を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ③令和3年12月26日(日)に開催 来場者:81名
----	---

課題	①文化協会会員が高齢化しているとともに会員数が減少傾向にあります。新規に加入する人も少なく協会の会員数を維持できるかが課題です。 ②出演者が固定化しているため、一般団体の募集をしていますが、町外団体などの参加には至っていません。
----	---

評価視点												総合評価	
必要性				有効性				効率性				A	
		○				○				○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		

今後の方向性	事業の改善点・今後の具体的な取組等
成果の方向性	①会場を分散しての文化展の開催など、新規会員の獲得に繋がるよう文化協会を支援します。 ②一般団体の募集を行う際に、広報紙及びホームページのほか、LINEやTwitter等のSNSに加え、ポスターを作成するなど周知方法の検討を行います。参加団体を増やすことで祭典を盛り上げ、来場者数の増加につなげます。
コスト投入の方向性	

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 3 年度)

事業名		文化芸術活動推進事業			担当課		生涯学習課 生涯学習係	
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	盆踊り講習会事業 (令和3年度中止)	各地区コミュニティの住民	講師による盆踊り講習会を開催することで	盆踊りの練習機会を提供し地域振興に寄与します。	0	15	現状維持	現状維持
2	東浦町音楽祭委託事業 (令和3年度中止)	コーラス団体	うのはな音楽祭を開催することで	歌唱コーラスの振興と文化芸術の発展に寄与します。	0	180	現状維持	現状維持
3	講座等開催委託事業	住民	落語を楽しむ会を開催することで	落語を通して文化芸術への興味や理解を深めます。	425	425	現状維持	現状維持
4	文化協会補助事業	文化協会	補助金を交付して	文化芸術団体を支援しその振興発展を図ります。	1266	1386	現状維持	現状維持
5	著名人イベント事業 (令和3年度新規事業、中止)	住民	著名人によるイベントの実施することで	文化芸術に触れる機会を作ります。	0	300	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					1,691	2,306	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		文化センター事業					SDGs		4、17			
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	住民										
	どのようにしたいか(意図)	幅広い分野や専門性の高い内容の教室・講座を開催することで、サークル活動等を盛んにします。また、利用者自身で企画や立案、運営を行うマイスタディー講座やマイプロデュース講座を行い自主的な活動を促します。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		4,312			6,140 142%			5,221 85%				
財源内訳	国・県支出金	488			499 102%			0 0%				
	受益者負担	224			265 118%			797 301%				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	3,600			5,376 149%			4,424 82%				
職員数(人)		1.42			0.95 67%			0.82 86%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		文化センターの新規教室・講座参加率									%	
		77	75	103%	76	75	101%	86	75	115%		
指標②		文化センターで実施する講座・教室の定員に対する受講率									%	
		75	75	100%	80	75	107%	86	75	115%		
主な事業内容		・子ども向け、託児付、青少年、料理、その他一般向け講座 ・マイスタディー講座(学びたい人が自ら企画・運営) ・マイプロデュース講座(教えたい人が自ら企画・運営) ・ICTプログラミング講座										
成果		・新型コロナウイルス感染症のまん延の状況下、以下のとおり講座を実施したことにより生涯学習の振興に及び自主的な活動の促進に寄与しました。 講座数 22講座 開催回数 60回 受講者数 265人 定員数 308人 受講率 86% うちマイプロデュース講座 講座数 3講座 開催回数 12回 受講者数 26人 定員数 30人 受講率 87% ・新たにICTプログラミング講座を実施し、将来的なICT教育の発展に向けた取組につなげることができました。 ロボットコース 開催回数 6回 受講者数 10人 定員数 10人 受講率 100% ゲームコース 開催回数 6回 受講者数 3人 定員数 10人 受講率 30%										
課題		・定員に満たない講座もあったため、住民のニーズを把握し、地域・世代間の連携・交流を促す講座など、興味を持ってもらえる講座の計画が必要です。 ・ICTプログラミング講座が、継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう自立した地域型のICTクラブの設立につなげられるかが課題です。										
評価視点								総合評価				
必要性		有効性			効率性			A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止止を検討				
		○			○			○		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い		やや高い	高い
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充				・講座終了時、受講者にアンケートを行い、ニーズを把握し、新規講座の開設や既存講座の改善につなげていきます。また、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。 ・ICT教育の実施に向けた取り組みが、継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう自立した地域型のICTクラブの設立等に発展できるよう指導者の育成を考えていきます。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休止											
コスト投入の方向性												
		増強	縮小	現状維持	拡大							

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習			取組	4 社会教育施設の整備						
事業名		文化センター施設整備事業				SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	文化センター										
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		9,389			18,409 196%			2,502 14%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	9,389			18,409 196%			2,502 14%				
職員数(人)		0.51			0.42 82%			0.33 79%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-										
				0			0			0		
指標②		-										
				0			0			0		
主な事業内容		文化センター施設の維持に必要な工事の実施(軽微な修繕を除く。) ・非常用発電機の更新工事 ・漏水緊急対応工事 ・受電設備更新工事 ・敷地内外灯及び窓戸車修繕工事 ・空調室外機部品取替工事 ・舞台吊物修繕工事										
成果		・非常用発電機を改修することで、火災時の二次災害を防ぐ機能を維持することができました。 ・施設内で漏水がありましたが、速やかに修繕を行い、漏水による損害を最小限に抑えました。 ・経年劣化してる受電設備を更新し、電気設備の性能を回復することができました。 ・外灯及び窓戸車を修繕し、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。 ・空調室外機を修理し、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ・舞台吊物のワイヤーを取付し、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。										
課題		建設から45年経過し、施設の老朽化が進んでいるため、今後も修繕が必要になると考えられます。60年から80年施設を使っていけるように状態をみて計画的に修繕していく必要があります。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性		A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討		
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡大				今後の改修について、計画的に実施していきます。令和5年に屋根防水の改修を予定しています。また、今後も、建物を長く使っていくため、劣化や故障がないか継続的に注視していく必要があります。 令和4年度は大規模な改修工事は予定していませんが、今後、電気代削減効果や照明機器の老朽化の現状を踏まえてLED照明導入を検討します。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
コスト投入の方向性												
皆減 縮小 現状維持 拡大												

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習			取組	4 社会教育施設の整備						
事業名		文化センター維持管理事業				SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	文化センター										
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		13,480			12,799 95%			15,857 124%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	788			10 1%			1,481 14810%				
	その他特定財源	23			15 65%			22 147%				
	一般財源	12,669			12,774 101%			14,354 112%				
職員数(人)		1.23			1.01 82%			1.34 133%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-										
				0			0			0		
指標②		-										
				0			0			0		
主な事業内容		文化センターの維持管理及び軽微な修繕 ・光熱水費の支払い ・消防設備、空調、エレベーター、受水槽、印刷機の保守点検 ・管理委託の実施 ・草刈り、植栽の剪定等の実施 ・設備の点検調整 ・公用車の点検整備										
成果		・施設修繕等により、利用者が安心して利用できる施設を保つことができました。 ・特定建築物定期検査において指摘のあった防火扉の修繕を行いました。 ・サッシ上のシーリングを打ち換えし雨漏り修繕しました。 ・敷地内の高木せん定及び桜の植え替えをしました。										
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											・委託料や電気代などのコストについて最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があります。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。
	現状維持				○							
	縮小											
	休止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁																																																
	施策	1 生涯学習			取組	1 生涯学習機会の充実																																																					
事業名		地区コミュニティセンター等事業				SDGs	4, 17																																																				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係																																																									
目的	誰を・何を(対象)	住民																																																									
	どのようにしたいか(意図)	地区の文化活動の拠点として、住民のみなさんのニーズに応じた各種教室・講座を開催することで生涯にわたって自由に学び、成果を活かすことができるようにします。																																																									
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)																																																			
		186			184 99%			563 306%																																																			
	国・県支出金	0			0 0			0 0																																																			
	受益者負担	104			119 114%			372 313%																																																			
	その他特定財源	0			0 0			0 0																																																			
	一般財源	82			65 79%			191 294%																																																			
	職員数(人)	0.16			0.15 94%			0.16 107%																																																			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位																																																
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率																																																	
	指標①	地区コミュニティセンター等の新規教室・講座参加率																																																									
		77	75	103%	90	75	120%	86	75	115%	%																																																
指標②	地区コミュニティセンター等で実施する講座・教室の定員に対する受講率									%																																																	
		75	75	100%	84	75	112%	87	75	116%																																																	
主な事業内容		子ども向け、料理、運動、その他一般講座の実施																																																									
成果		新型コロナウイルス感染症のまん延の状況下、予定していた全ての講座を実施することができず、実施は半数程度に留まりましたが、以下の講座実施により生涯学習の振興及び自主的な活動の促進に寄与しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講座数</th> <th>開催回数</th> <th>受講者数</th> <th>定員数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森岡コミュニティセンター</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>緒川コミュニティセンター</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>卯ノ里コミュニティセンター</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>石浜コミュニティセンター</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>生路コミュニティセンター</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>藤江公民館</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9</td> <td>29</td> <td>96</td> <td>110</td> <td>87%</td> </tr> </tbody> </table>											講座数	開催回数	受講者数	定員数	受講率	森岡コミュニティセンター	1	5	20	20	100%	緒川コミュニティセンター	2	10	20	24	83%	卯ノ里コミュニティセンター	0	0	0	0	0	石浜コミュニティセンター	2	8	19	24	79%	生路コミュニティセンター	2	3	14	18	78%	藤江公民館	2	3	23	24	96%	合計	9	29	96	110	87%
	講座数	開催回数	受講者数	定員数	受講率																																																						
森岡コミュニティセンター	1	5	20	20	100%																																																						
緒川コミュニティセンター	2	10	20	24	83%																																																						
卯ノ里コミュニティセンター	0	0	0	0	0																																																						
石浜コミュニティセンター	2	8	19	24	79%																																																						
生路コミュニティセンター	2	3	14	18	78%																																																						
藤江公民館	2	3	23	24	96%																																																						
合計	9	29	96	110	87%																																																						
課題		75%の参加率を目標に実施していますが、夏休みにおける子ども向けの講座などの人気があるものだけでなく、新しい講座メニューを見つける試みが必要です。																																																									
評価視点										総合評価																																																	
必要性				有効性				効率性																																																			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い																																																
										A																																																	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等																																																							
成果の方向性	拡充										地域による地域のための講座を開催していきます。また、各地区のニーズを把握して新規講座の開設や既存講座の改善に繋げ、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。 令和4年度は計画している全ての講座を実施する予定で予算計上しています。																																																
	現状維持																																																										
	縮小																																																										
	休廃止																																																										
		増減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																																																					

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁			
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備						
事業名		地区コミュニティセンター等施設整備事業		SDGs		4、11、17				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係								
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館								
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。								
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)					
		58,120	58,714	101%	48,557	83%				
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0				
	受益者負担	0	0	0	0	0				
	その他特定財源	0	0	0	0	0				
	一般財源	58,120	58,714	101%	48,557	83%				
職員数(人)		0.23	0.22	96%	0.36	164%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		実績値	目標値
指標①				0			0		0	
指標②				0			0		0	
主な事業内容		地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館の維持に必要な工事の実施(軽微な修繕を除く。)								
成果		以下の改修工事等を行うことで利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・森岡及び卯ノ里コミュニティセンターでは、舞台吊物設備の補強を行いました。 ・森岡コミュニティセンターでは、電気設備におけるケーブル等の取替修繕等を行いました。 ・緒川及び卯ノ里コミュニティセンターでは、空調室外機の部品取替等の修繕を行いました。 ・生路コミュニティセンターでは、室内カーテンの取替を行いました。 ・藤江公民館では、空調機の取替修繕を行いました。								
課題		所管施設は、建物から40年以上経過している施設が多いため、修繕等を計画的に行う必要があります。								
評価視点										
必要性		有効性		効率性		総合評価				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い			
		○			○		○			
A										
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充						・施設の構造部分については、個別施設計画に基づき改修工事を実施していく必要があります。 ・施設、設備に不具合が発生していないか適宜確認を行い、必要に応じて改修工事を計画します。 ・照明のLED化について今後検討していく必要があります。			
	現状維持			○						
	縮小									
	休止									
		皆減	縮小	現状維持	拡大					
コスト投入の方向性										

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2. 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	58	頁		
	施策	1 生涯学習		取組	4 社会教育施設の整備						
事業名		地区コミュニティセンター等維持管理事業			SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館									
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)					
		25,744		26,872 104%		35,634 133%					
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0					
	受益者負担	2,096		2,301 110%		4,025 175%					
	その他特定財源	121		106 88%		107 101%					
	一般財源	23,527		24,465 104%		31,502 129%					
職員数(人)		0.72		0.71 99%		0.97 137%					
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-			-			-			
		0			0			0			
指標②		-			-			-			
		0			0			0			
主な事業内容		地区コミュニティセンター及び藤江公民館を運営していくための維持管理及び軽微な修繕 ・夜間土日等の管理委託 ・保守点検(電気設備・消防用設備・空調設備) ・清掃委託 ・浄化槽維持管理委託 ・防犯警備業務委託 ・建築物定期検査委託 ・光熱水費の支払い等									
成果		・施設の各設備の検査点検、防犯警備委託及び光熱水費の支払いを実施し、適切な維持管理を行うことで、利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・緒川コミュニティセンターでは、誘導灯の取替等、消防設備の修繕を行いました。 ・石浜コミュニティセンターでは、漏水に伴う緊急修繕を行いました。 ・生路コミュニティセンターでは、照明器具の取替修繕を行いました。									
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。									
評価視点										総合評価	
必要性				有効性				効率性		A. 計画どおりに事業を進めることが適当 B. 事業の進め方の改善を検討 C. 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D. 事業の統合・休止を検討	
			○				○				○
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い		やや高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等						A	
成果の方向性	拡充										・委託料や電気代などのコストについて最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があります。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。
	現状維持			○							
	縮小										
	休止										
				皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性			

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	58	頁			
	施策	1 生涯学習		取組	2 図書館機能・サービスの充実							
事業名		中央図書館運営事業			SDGs	4、11、17						
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係 【旧:教育部 図書館 図書館係】										
目的	誰を・何を(対象)	住民、図書館資料										
	どのようにしたいか(意図)	・図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借、イベント等を実施することで、読書のきっかけづくりや継続的な読書活動につなげます。 ・継続的な図書館資料の購入とリサイクル事業によって適切な図書館資料の所蔵数を保持します。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)		
		43,172		43,863		102%		0		0%		
財源内訳	国・県支出金	0		0		0		0		0		
	受益者負担	0		0		0		0		0		
	その他特定財源	55		113		205%		0		0%		
	一般財源	43,117		43,750		101%		0		0%		
職員数(人)		2.73		3.03		111%		0.00		0%		
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		イベント・講座の開催数									件	
		15	11	136%	9	16	56%	19	19	100%		
指標②		図書館資料の購入点数									点	
		4,383	4,950	89%	4,914	4,950	99%	4,716	4,950	95%		
主な事業内容		・図書館資料購入 ・図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借、講座等の実施 ・よむらびフェスタ(図書館まつり)、クリスマス会の実施 ・開館30周年記念イベントの実施 ・リサイクルフェア ・子ども読書活動推進										
成果		次の事業を行い、読書活動に寄与しました。 ・図書館資料の貸出し点数: 一般書109,234点、児童書115,093点、視聴覚資料10,162点、雑誌14,244点 ・各種講座、イベントの実施: 9講座、4イベント、よむらびカフェ(2回)、開館30周年記念事業: 2イベント、よむらびフェスタ、クリスマス会を実施 ・レファレンス件数: 622件 ・相互貸借件数: 貸190点、借549点 ・リサイクルフェア: 譲渡冊数8,084点 ・子ども読書活動推進: おはなし会、読書通帳、発達段階に応じたブックリスト、よむらび通信、中央図書館だより、ブックスタート、図書館見学の受け入れ、図書資料の学級文庫への巡回、学校図書館担当者との情報交換(隔月)										
課題		新型コロナウイルス感染症のまん延を契機として、人々のオンライン上での活動がますます盛んになっていることから、電子書籍の導入など図書館に来ずとも読書活動ができる機会を提供することができるよう求められています。										
評価視点										総合評価		
必要性			有効性			効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適切 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B
		○					○			○		
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				○	図書館を取り巻く社会的環境の変化、それに伴う図書館に対するニーズの変化に迅速に対応する図書館運営を実施するにあたり、令和4年度より指定管理者制度による適切な運営を行っていきます。 本事業は指定管理者制度導入に伴い廃止となりますが、事業の進め方の改善を図るということで総合評価を「B」としています。						
	現状維持											
	縮小											
	休止											
コスト投入の方向性												
削減						縮小						
現状維持						拡大						

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 3 年度)

事業名	中央図書館運営事業	担当課	生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	図書館サービス充実事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	利用者	図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借、イベント等の事業によって	読書のきっかけづくりや継続的な読書活動につなげます。	27,112	0	拡充	現状維持
2	図書館資料購入・リサイクル事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	資料	継続的な図書館資料の購入とリサイクル事業によって	適切な所蔵数を保持します。	16,751	0	拡充	現状維持
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					43,863	0	拡充	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁				
	施策	1 生涯学習			取組	2 図書館機能・サービスの充実									
事業名		中央図書館管理事業				SDGs	4、11、17								
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係【旧:教育部 図書館 図書館係】													
目的	誰を・何を(対象)	図書館施設(設備)、利用者、図書館職員													
	どのようにしたいか(意図)	・図書館施設(設備)の適切な管理と長寿命化を図ります。 ・利用者の読書活動の利便性を高めるため情報化を推進します。 ・業務の効率化を図るため情報化を推進します。													
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)							
		43,942			22,827 52%			0 0%							
財源内訳	国・県支出金	1,120			0 0%			0 0							
	受益者負担	10			0 0%			0 0							
	その他特定財源	148			169 114%			0 0%							
	一般財源	42,664			22,658 53%			0 0%							
職員数(人)		2.35			2.83 120%			0.00 0%							
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率					
指標①		ウェブによる図書資料の予約件数									件				
		6,090	8,000	76%	5,860	8,000	73%	7,232	8,000	90%					
指標②		Wi-Fi利用実績(接続端末数)									台				
		2,273	2,151	106%	1,139	1,908	60%	1,266	1,253	101%					
主な事業内容		・施設の保守、修繕、改修工事 ・図書館システムによる図書の管理 ・インターネット閲覧パソコンの提供 ・Wi-Fi環境の提供													
成果		次の事業を実施し、施設の安全性や利便性を高めました。 ・実施した改修工事 中央図書館内装・外壁改修工事(18,299千円) 外灯LED照明改修工事(2,611千円) ・ウェブによる図書資料の予約件数:7,232件 ・インターネット閲覧パソコン利用実績:286件 ・Wi-Fi利用実績(接続端末数)1,266台													
課題		・施設の管理については、施設が老朽化していくので、再配置、複合施設化などを議論していく必要があります。 ・情報化への対応については、より便利で効率的な図書の管理ができるICタグの導入を検討する必要があります。													
評価視点										総合評価					
必要性				有効性				効率性							
			○			○			○						
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い				
B															
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等											
成果の方向性	拡充			○	令和4年度より指定管理者制度を導入し、町の直営から民間業者による管理運営形態に変更します。本事業は指定管理者制度導入に伴い廃止となりますが、事業の進め方の改善を図るということで総合評価を「B」としています。 なお、指定管理者によらない大規模工事等については、事業名を「中央図書館運営管理事業」として引き続き町が実施します。										
	現状維持														
	縮小														
	休止														
コスト投入の方向性															
削減				縮小				現状維持				拡大			

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名		担当課			生涯学習課 生涯学習係			
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	中央図書館維持管理事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	図書館施設(設備)	保守、修繕、工事等によって	適切な管理と長寿命化を図ります。	20,284	0	拡充	現状維持
2	図書館情報化事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	利用者、図書館職員	図書館システムやIT技術を活用して	利用者にとっては読書活動の利便性を高め、職員は効率的に業務を行います。	2,543	0	拡充	現状維持
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					22,827	0	拡充	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁														
	施策	3 文化振興	取組	2 郷土の伝統文化の継承																	
事業名		文化財保護事業		SDGs	4、17																
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係																			
目的	誰を・何を(対象)	文化財及び伝統文化																			
	どのようにしたいか(意図)	・国・県・町指定文化財や郷土の伝統文化の保存継承活動を支援し、後世に伝えます。 ・町内に残る文化財を多くの方々に知ってもらい、文化財の保護へつなげます。																			
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)															
		1,836	2,556	139%	5,557	217%															
財源内訳	国・県支出金	10	17	170%	17	100%															
	受益者負担	0	0	0	0	0															
	その他特定財源	0	0	0	0	0															
	一般財源	1,826	2,539	139%	5,540	218%															
職員数(人)		0.74	0.74	100%	0.72	97%															
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位										
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率											
指標①		<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td> </tr> </table>											0			0			0		
		0			0			0													
指標②		<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td> </tr> </table>											0			0			0		
		0			0			0													
主な事業内容		①文化財補助金の交付 ②文化財説明板等の修繕等 ③文化財保護審議会の開催																			
成果		①新型コロナウイルス感染症の影響により地域の祭礼が中止となり、補助事業が中止になった保存団体がありましたが、工夫して事業を実施した保存団体もあり、継承への取組が続けられています。 ・東浦町文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、指定文化財の所有者や保存団体等へ補助金を交付しました。4団体160,000円 ②定期的に修繕することにより、文化財等そのものがある場所で周知し、身近にある文化財に触れることができました。 ・5基修繕(合計60基設置)。 ③会議を開催し、文化財の保存等について意見をいただくことができました。 ・年2回開催																			
課題		①祭礼の中止により活動が中断し、祭礼の継承が難しくなっています。また、地域の伝統文化に対して関心が低くなり、伝統文化の担い手が少なくなっています。 ②説明板は文章による説明が中心で写真等がないため、理解するのが難しいものもあります。																			
評価視点											総合評価										
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討												
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い										
B																					
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等															
成果の方向性	拡充					①町内各地域の伝統文化の保存会が集まって情報交換する機会を設けたり、活動を紹介して支援していきます。 ②学校と連携し、地域の文化財を紹介するPR動画の制作を計画します。将来的には町のホームページへの掲載や、現地にある文化財説明板にQRコードを掲示し、動画による説明を追加していく予定です。															
	現状維持			○																	
	縮小																				
	休止																				
コスト投入の方向性																					
増減 縮小 現状維持 拡大																					

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名		文化財保護事業			担当課		生涯学習課 文化財係	
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	文化財保護審議会事業	文化財保護審議会委員	町指定文化財の指定等を審議してもらうことで	町内の文化財を保護します。	65	140	現状維持	現状維持
2	文化財保護事業	住民	文化財説明板等を設置して	東浦町の歴史や文化財等を知ってもらいます。	2,331	5,217	現状維持	現状維持
3	文化財補助事業	指定文化財の所有者・保存団体等	補助金を交付して	指定文化財の保存・継承を図ります。	160	200	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					2,556	5,557	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用			

事業名		天白遺跡事業				SDGs		4、17					
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係											
目的	誰を・何を(対象)	天白遺跡											
	どのようにしたいか(意図)	天白遺跡の発掘調査により大規模な遺跡があったことが明らかになったため、天白遺跡ひろばを整備し、古くから人々の暮らしが営まれた歴史あるまちであることを紹介します。											
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)					
		990			20,248 2045%			0 0%					
財源内訳	国・県支出金	0			5,100 0			0 0%					
	受益者負担	0			0 0			0 0					
	その他特定財源	0			0 0			0 0					
	一般財源	990			15,148 1530%			0 0%					
職員数(人)		0.22			0.22 100%			0.00 0%					
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		-											
				0			0			0			
指標②		-											
				0			0			0			
主な事業内容		土地区画整理事業地内に遺跡を紹介する天白遺跡ひろばの整備工事を実施しました。											
成果		調査で見つかった遺構を盛土して保存し、見つかった竪穴建物等の遺構をカラー舗装により時代別に実物大で表示して整備することで、古くから人々の暮らしが営まれた歴史あるまちであることがわかりやすく紹介することができました。											
課題		天白遺跡ひろばの整備は完了しましたが、ひろばを広く周知し、現地へ足を運んでもらえるような取組が必要です。											
評価視点										総合評価			
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討	
			○				○				○	D	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等									
成果の方向性	拡充					天白遺跡ひろばの整備工事が完了したため、本事業は廃止となります。令和4年度からは文化財保護事業の1つとして遺跡ひろばのPRを図っていきます。							
	現状維持												
	縮小												
	休廃止	○											
		皆減	縮小	現状維持	拡大								
		コスト投入の方向性											

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	66	頁
	施策	3 文化振興			取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用					
事業名		郷土資料館事業				SDGs		4, 17			
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	・郷土の歴史や文化財の情報発信・学習機会を提供し、東浦の歴史や文化財への関心や親しみを高め、郷土に対する愛着を持ってもらうきっかけとします。 ・ガイドボランティアを育成し、郷土の魅力を伝えます。									
事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)		
	4,169		5,674		136%		3,775		67%		
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0			
	受益者負担	233	314	135%	768	245%					
	その他特定財源	0	0	0	0	0					
財源内訳	一般財源	3,936	5,360	136%	3,007	56%					
	職員数(人)	0.80	0.80	100%	0.80	100%					
	主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①	郷土資料館で実施する講座・教室の定員に対する受講率									%	
	83	75	111%	96	75	128%	81	75	108%		
指標②	-										
			0			0			0		
主な事業内容		①企画展の開催 ②東浦ふるさとガイド協会の育成支援のためのガイドボランティア養成講座の開催 ③東浦の歴史や文化財に関する講座や陶芸教室の開催									
成果		①春と秋の企画展に加え、ミニ企画展を開催し、郷土の歴史の情報発信を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響が少し落ち着いた点もあるのか、来館者数に戻りが見えました。 ・春の企画展:「人の一生ー人生の節を刻むー」、入館者数2,631人 ・秋の企画展:「天白遺跡ー知多半島最大の集落に生きた人々ー」、入館者数5,066人 ・ミニ企画展3回開催 ②新型コロナウイルス感染防止のため、回数及び定員を減らしての開催となりました。 ・ガイドボランティア養成講座:1講座4回、受講者数18人 ・東浦ふるさとガイド協会の会員数:35人(新規会員数1名) ③新型コロナウイルス感染防止のため中止になった講座の時期を変更するなど工夫して開催し、郷土の歴史についての学習機会を提供できました。 ・歴史関係講座:6講座94人、陶芸関係講座:5講座32人									
課題		①資料館の認知度が低く、企画展の情報も十分に周知できていません。 ②ガイドボランティアの新規会員が減少傾向にあるとともに、会員の高齢化が進んでいます。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
		○			○						○
A											
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				①多くの人に企画展へ来館してもらえるよう、効果的な宣伝や興味・関心を持ってもらえる展示内容を考えていきます。 ②ガイドボランティアの活動に興味を持ってもらえるよう、ガイドボランティアと協力して、活動内容の紹介等を行います。 ①②とあわせて、全小学校への来館学習を働きかけ、学校との連携を進めて、来館者数の増加へつなげます。						
	現状維持			○							
	縮小										
	休止										
コスト投入の方向性											
削減					縮小						
					現状維持						
					拡大						

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	郷土資料館事業	担当課	生涯学習課 文化財係
-----	---------	-----	------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	企画展開催事業	住民	収蔵資料等を活用し、企画展を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	1,677	2,113	現状維持	現状維持
2	ガイドボランティア養成講座事業	ガイドボランティアになる意欲がある住民	講座を開催して	東浦ふるさとガイドボランティア協会の会員になってもらいます。	43	52	現状維持	現状維持
3	講座開催事業	住民	講座・教室を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	541	833	現状維持	現状維持
4	郷土資料館関連事業	住民	パンフレットや図書を印刷し配布するとともに、収蔵資料等の保存活用を図る事業を行うこと	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	3,413	777	現状維持	現状維持
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					5,674	3,775	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	66	頁									
	施策	3 文化振興			取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用														
事業名		郷土資料館管理事業				SDGs	4, 17													
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係																		
目的	誰を・何を(対象)	郷土資料館及び収蔵資料等																		
	どのようにしたいか(意図)	・設備等の保守や修繕等により適切に維持管理し長寿命化を図ります。 ・東浦の歴史を語る貴重な資料を適切に維持管理し、後世へ伝えます。																		
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)										
		14,978		15,162		101%		64,731		427%										
財源内訳	国・県支出金	0		0		0		0		0										
	受益者負担	176		155		88%		211		136%										
	その他特定財源	0		0		0		45,900		0										
	一般財源	14,802		15,007		101%		18,620		124%										
職員数(人)		0.55		0.55		100%		0.56		102%										
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位									
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率										
指標①		<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td> </tr> </table>											0			0			0	
		0			0			0												
指標②		<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td> </tr> </table>											0			0			0	
		0			0			0												
主な事業内容		①施設の保守点検委託 ・10委託業務 ②施設の修繕・工事 ・空調機更新工事設計業務																		
成果		①施設の適正な維持管理を行い、利用者が安全に利用できる施設を保つことができました。 ②計画的に施設の修繕・工事を行うことができました。令和4年度の空調機更新工事に向けて設計を行いました。 ・空調機更新工事設計業務																		
課題		資料の保管場所が不足しており、新たな保管場所が必要です。																		
評価視点										総合評価										
必要性				有効性				効率性												
低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い												
○				○				○												
A																				
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等																
成果の方向性	拡充										・資料の保管場所を増やせないか既存の保管場所の整理を行うなど場所・建物を検討します。 ・施設建設後23年経過しており、今後は大規模な修繕・工事が必要になることが想定されるため、より計画的に施設の更新を行い施設の長寿命化を図ります。令和4年度は空調機の更新工事を実施します。									
	現状維持				○															
	縮小																			
	休止																			
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性														